

平成 25 年度 下半期 保育士の自己評価のまとめ

1、各自が設定した目標について

○職員集団についての目標では

- ・職員一人ひとりが自覚的に学び合うような園の雰囲気をつくれるようにしていく。
- ・自分に与えられた職務を丁寧に行い、各クラスの職員配置や保育活動に目を向けながら状況をつかんだり、気持ちよく働ける職場であるよう心がける。
- ・安心して仕事をし頑張ることができ、保育を含めいろんな事が話しあえる職員集団にしていく。
- ・子どもに求める前に自分に問う、自分はどうか振り返る事。相手の立場にも立つ。
- ・自分の弱い点を見つめ直しながら、自分の思いを相手に伝えられるようにする。

○保育にあたる姿勢としては

- ・保育内容について見通しを持ち、各クラスと連携を取りスムーズに行えるようにしていく。
- ・子どもの成長、発達を保障し、保育を行なっていく。
- ・家庭とよりよい信頼関係を築きながら、手立てを共に考えて行く。
- ・子どもたちの体調管理をしっかりする。また自分自身の体調管理も同様に考えていく。
- ・学ぶ意欲を大切にしていく。
- ・実践を楽しく書け、子どもの物語を描きとめる力をつけて行く

○保育の力量の向上では

- ・健康状態の観察、睡眠への導入方法を学ぶ。
- ・ピアノの技術向上
- ・子どもが主人公になれる生活、遊び作りを具体的に実践し、記録していく。
- ・子ども一人ひとりの様子を掴み、給食作りをしていく。

2、自己評価

- ・研修に多くの職員が参加でき、保育者としての成長に繋がったと思う。
- ・保育制度の問題は、みんなの問題という事は一致しているが、他園等と協力して運動していく事に難しさを感じた。
- ・書類・お便り等複数確認する事や再確認を大切にし、誤字脱字等減らすことが出来た。
- ・悩まなければ成長しない事は分かるが、悩みが深すぎてよくわからなくなっている。
- ・保育計画は目の前の子どもの姿に合わせて充実させることができたが、記録がやり切れず反省。
- ・よりよい職員集団になるよう努めたが、自分に余裕がなく一步踏みこんでいくところは弱かったと思う。
- ・教材準備の不十分さに反省。活動や子どもの姿を振り返る事が弱かった。
- ・自己学習は弱かったが、クラスで子どもの姿や手立てについていつも話しあう事が出来て保育に活かしていくことができた。
- ・忙しい時とゆとりがある時の差があり、子どもへの対応にも影響してしまったと思う。
- ・実践を記録することができず反省。研修で学んだことは伝え合いみんなに返してきた。
- ・さまざまな助言をもらっても、自分に受け止める余裕がない時は、なかなか真摯にうけとめられなかった。
- ・色々な機会に学んできたが実践に生かしきれず反省。子どもの発達、成長に対して、対応が上手くできない。
- ・体調のコントロールは予測しながら防げるよう努めたが、まだ課題である。

3. 自分の任務に対して

- ・保育の状況をつかみ、きめ細やかに職員や、子どもと関わらず反省、園長・主任間でもっと討論できれば良かった。「自分はどのように考えるか」を話し、信頼関係が築けるとよいと思った。
- ・職員や子どもに対しての様々な窓口と心がけてきたが、「ではどうするか、」等丁寧に納得できる結果や方向を出せず力不足を感じた。
- ・主任としての役割に悩み、力量不足を感じた。
- ・クラスでの事故報告が2件あり、反省、連絡や報告、相談を改めて意識した。
- ・日々に追われ、任務の遂行が出来たか反省。
- ・担任業務で頭がいっぱい。・担任として保護者の思いが聞ききれていない。
- ・担任同志、保育観を一致できるよう話し合いが上手くできなかった。
- ・合研担当として色々なカンパ活動に取り組んだ。
- ・上半期の反省を生かし、解決策や、次につなげる事が出来た。
- ・病気の感染が起こらないよう衛生面には気をつけてきた。

4. 今後の課題・目標について

- ・保育の充実を考えていきたい。
- ・制度を学んで生かしていく。
- ・業務の引き継ぎを丁寧にしていく
- ・保育理念に沿って職員が同じ方向を向いて保育ができるようにしたい。
- ・討論したり、意見が出し合い、みんなで作る保育を大切にしたい。継承されてきた保育、歴史を学び、後輩に伝えられるようにしていきたい。
- ・初心に戻り、子どもの為に楽しく仕事を行なっていきたい。
- ・保護者と子どもの成長や課題を共通認識にしていく。現状を全うする
- ・できることから努力する、思った事をその場で言葉にして、他者の意見も受け入れて考える。
- ・自己学習を充実させる。子どもの姿、保育が見える記録を工夫していく。
- ・心に余裕を持って保育をおこなう。真摯に受け止め、自分を大きくしていく。
- ・自分が学んできたことを大切に、子どもに伝えたい事を、給食の実践で見つけいく。
- ・子どもの心に寄り添い、子どもへの言葉かけを大切にしていく。

5. その他について

- ・「子ども像は大人像」が実感できる職場であり、自分をふりかえるようにしていきたい。
- ・職員集団がよりよくなるためにもっと考えていきたい。
- ・園内研修をもっと充実したい。
- ・前向きに仕事をする。
- ・保育士であり、母であることに葛藤しながらも支えてもらった年だった。
- ・どのクラスもサービス残業をしている。家に帰れば疲れ、自己学習もできない。自信もなくなる
- ・悩んだ時に「どうしたらいいのか」とプラスに考える集団で有りたい。
- ・昼間に会議がある時は、クラス間での話し合いができない。
- ・園舎建設の話し合いができれば…と思う。